

部局名	総務企画部	所属名	職員課	所属長名	田口 定夫	電 話	483-1151 内線2350
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3023		事務事業名称	安全衛生管理事業					短縮コード	経常	3023	臨時	3688
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	人事管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		労働安全衛生法，労働安全衛生規則，八千代市職員安全衛生管理規程							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
労働安全衛生法に基づき，労働者の安全と健康を確保し，快適な職場環境を形成することを目的に開始された。時期は，八千代市職員安全衛生管理規程が制定された昭和52年3月31日。事業概要としては，職員の健康管理及び安全衛生に関する研修等で，産業医の職場巡回，メンタルヘルス相談，健康診断などを実施している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	07	計画の推進のために						
業務の複雑化や住民ニーズの多様化等により，一人当たりの仕事の量は質とともに増えており，「精神及び行動の障害」による長期病休者が増加している。また，定年退職者と新規採用者の人数がここ数年増加しているため，職員の年齢構成が若年化している。 平成23年末，事業所に対し，定期健康診断時に「ストレスチェック」を実施し，医師がストレスに関する症状・不調を確認することを義務づける，労働安全衛生法の一部改正する法律案が提出された。					大項目（節）	01	市民主体による自主的な行政経営						
					中 項 目	03	第3章持続可能な行政経営の確立						
					小項目（施策）	01	(1)効率的な行政運営の確立						
					細 項 目	03	③人事体制の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成24年4月 ～ 平成25年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市職員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 1. 健康診断及び予防接種の実施。 2. 産業医による保健面接，カウンセラーによるメンタルヘルス相談。 3. 安全衛生委員会の開催及び派遣研修。							
	※平成25年度に計画していること： 「精神及び行動の障害」による長期病休者が増加していることから，メンタルヘルス対策（療養後の復帰支援）を重点的に進めていく。							
意図 （何を狙っているのか）	1. 職員が健康な状態で勤務できる。 2. 安全で快適な職場環境を整備する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	職員数	人	1, 320	1, 323	1, 321	1, 322	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	健康診断の受診率	%	96. 57	100	94. 9	96	
	指標 2	メンタルヘルス相談の利用者数	人	39	36	31	36	
	指標 3	安全衛生委員会の開催回数	回	8	10	8	10	
成果指標	指標 1	長期病休者数（休業30日以上療養者）／職員数×100, 000	人	2, 114	2, 114	3, 547	3, 026	
	指標 2	公務災害の発生件数／職員数×1, 000	人	4. 9	0	3. 8	1. 5	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3023	事務事業名称	安全衛生管理事業				所属名	職員課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			近年、当市において、退職者と新規採用者の人数が増加しており、職員の年齢層が若年化しているため、メンタルヘルス不調者が多く発生している。今後も、現在実施している事業を継続して進めていくが、メンタルヘルス対策を重点的に行っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			35歳未満職員の増加により、定期健康診断等業務委託料の増加が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
1．時間外労働が多い職員に対する健康障害防止対策が求められている。 2．「精神及び行動の障害」による長期病休者が増加しており、メンタルヘルス不全者を発生させない取り組みが求められている。 3．労働災害防止のため、危険業務に係る安全管理対策が求められている。									

所属長コメント	職場における健康管理対策は、労働安全衛生法及び八千代市職員安全衛生管理規程等により、安全衛生委員会及び産業医を設置して、各事業所職場における健康管理対策として、職場巡回・健康相談等に取り組んでいる。現在、メンタルヘルス不調者が多く発生しているため、今後も引き続き、管理監督者に対し、メンタルヘルス不調に陥った職員の早期発見と対応、未然防止のための教育研修・情報提供を推進し、職員の健康管理支援体制を整備していく必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									